

慣用句①

名前

点数

25

- 1 愚痴をこぼしても始まらない。
- 2 機先を制したことで勝利した。
- 3 棚から牡丹餅で勝ち抜いた。
- 4 一筋縄では行かない難問だ。
- 5 値上げ競争に拍車を掛けた。
- 6 一寸の虫にも五分の魂。
- 7 とんだ意趣返しに遭ってしまった。
- 8 狸寝入りをしてごまかす。
- 9 懐が深い人物。
- 10 座右の銘を書いて士気を高める。
- 11 鶏口となるも牛後となるなかれ。
- 12 後悔しても覆水盆に返らず。
- 13 心頭滅却すれば火もまた涼し。
- 14 立つ鳥跡を濁さず。
- 15 最後の最後に一矢を報いる。
- 16 身も蓋もない言い方をするな。
- 17 虎の威を借る狐にはならない。
- 18 ほかの作品と一線を画する。
- 19 二人の技量には雲泥の差がある。
- 20 今日では完膚無きまで敗れた。
- 21 友人の失敗を他山の石とする。
- 22 彼はめきめき頭角を現してきた。
- 23 羽目を外しすぎてはいけない。
- 24 虫の知らせで、足早に帰宅した。
- 25 破竹の勢いで進撃する。

- a 才能などの優れていることが、他より目立つようになる
- b 予感がすること
- c 自分の知徳を磨くのに役立つ、自分とは無関係の出来事
- d 一度してしまったことは取り返しがつかないことの例え
- e 徹底的に
- f 物事の進行をいっそう速める
- g 露骨過ぎて、情味をふくみもないこと
- h やられてばかりいないで少しでも反撃、反論をする
- i はっきりと区別する
- j どんなに小さく弱いものにも相応の意地があること
- k 思いがけない得をすることのたとえ
- l 権威を後盾にしていばる小人物のこと
- m 非常に大きな差
- n 常にそばにおいて戒めとする言葉や格言
- o どんな困難も気の持ち方次第であること
- p 立ち去るとき、後が見苦しくないよう始末すべきである
- q 大きな集団の下位よりは、小さい組織でも長になるのがよい
- r ふつうの手段では思うようにできない
- s 止めることができなほど激しい勢い
- t 眠ったふりをすること
- u 調子に乗って騒ぎ、度を過ぎること
- v 度量が広く、包容力がある。
- w さきに行動し相手の氣勢を抑え、自分を有利にする
- x 泣き言を言う
- y 恨みを抱いてしかえしをすること

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
s	b	u	a	c	e	m	i	l	g	h	p	o	d	q	n	v	t	y	j	f	r	k	w	x